

子どもたち・保護者と地域の
架け橋になれる場所に



金ケ崎町子育て
支援センター所長
渡辺 理恵さん

これまで社会福祉法人愛護会の保育士として町内外の保育園で勤務し、令和5年から町子育て支援センターで働いています。中学生の時に職場体験で保育園に赴き、無邪気な子どもたちの可愛さに惹かれ、保育の道へ進みました。保育士が保育園以外でも、より身近な環境で子育て支援ができることに魅力を感じています。

子育て支援センターは保育園と違い、普段から家族で利用できるため、その場で子育て相談もできる施設です。各種イベントでは町の出身者の保育士さんや教育関係の方、地域の方を講師としてお招きし、様々な経験をすることができます。他のお子さんや保護者とも仲良くなれるし、職員に子育てに関することも相談できます。

金ケ崎町がこれからも子育てがしやすい環境になれるよう活動を続けていきたいです。



外国人の方達と心を通わせ
尊重し合える環境へ



金ケ崎町国際
交流協会副会長
細目 明子さん

金ケ崎町国際交流協会の創立時から30年以上在籍しています。協会では、外国人との交流を目的とした新年会などのイベントのほか、語学や国際理解の講座を行っています。

自分自身、過去にはアマースト町との姉妹都市締結や、中学生の海外研修にも携わり、町の国際交流の歴史にさまざまな形で関わってきました。国際交流の魅力は、相手との違いを見つけたり、異文化にふれたりすることで、自分とは違う他者への理解が進むことだと思います。

これからの国際交流は外国人の方と一緒に暮らしていく関係、『多文化共生』へ徐々に変わっていきます。相手をより深く知り、生活を共にするためには、土台としてまずは仲良くなることが大切です。在住外国人の方が安心して楽しく過ごし、町民との交流がより活発になるように取り組んでいきます。



帰り際の「美味しかった」が
何よりの言葉です



金ケ崎町食生活改善
推進員協議会会長
菊地 美春さん

地域の人たちから声をかけていただき、平成13年に町食生活改善推進員協議会(以下食改)に入会して、現在まで20年以上在籍しています。

食改活動の楽しいところは、自分の勉強したことが地域に発信でき、各家庭で健康づくりにつながる事だと思っています。地域の会員たちと定期的に地区生涯教育センターや地域の公民館に集まり、より美味しく、より健康になれる食改善を目指しています。

最近はSNSが発展し、料理情報が手軽に取得できますが、人と人との交流で出来上がった温かくて優しい料理も素晴らしいです。金ケ崎町はお米が美味しい地域ですが、米どころはおかずの味が濃くなる傾向にあります。減塩やフレイル予防を意識して調理し、食事から町内が元気になるように今後も活動を続けていきます。



写真の中の思い出を
未来の笑顔に



写真を取り続けて
半世紀
及川 勇治さん

20歳の頃にカメラをはじめてから、50年以上金ケ崎や県内の様子を撮影し、記録に収めています。風景や動物、そして家族の笑顔の写真を撮り続けてきました。

50年程前にはまだ珍しかった金ケ崎町の白鳥の様子も当時からずっと撮影し、さまざまな企画展や町の文化祭で普段なかなか見られない写真を展示すると、町内外から多くの方に来場いただき、興味深く楽しそうに閲覧してもらっています。

写真は撮るだけではなく、後から見てその時の感動を味わえる良さが魅力です。時間、空間を切り取り、永遠の思い出として一枚の作品として残り続けるため、感動できる写真を飾るようと毎回シャッターを切っています。『一枚の写真を見ながら、みんな笑顔で思い出を語り合う』そんな写真をこれからも撮り続けていきたいです。



受け継いできた伝統を
みんなへ届けたい



生田流宮城派
坂本 中 大 師 範
坂本 知子さん

戦時中に東京から疎開してきた人の中に箏の先生がおり、その方を最初の師匠として小学1年生の頃に習い始めてから、現在まで80年近く箏を弾いています。伝統的な古曲や宮城道雄さん(箏曲家)の曲を大切にしており、中でも「春の海」は特に思い出のある曲です。

三絃と箏、尺八または胡弓が加わって合奏する三曲合奏は迫力があり、音色の美しさは聞いた人達を一瞬で虜にします。演奏する姿勢は、魅せる音楽そのものだと思います。

町芸術文化祭でも披露しており、多くの方に楽しみにいただいています。演奏を聴いて興味を持った方に実際に体験してほしいです。

受け継いできた技術と想いがつながり、これからも金ケ崎で素敵な音色が響き渡れば嬉しいです。



わたしの好きな
金ケ崎

金ケ崎はひとりひとりが輝く素敵なまち。町で活躍する人達に自分の頑張っているところや金ケ崎の好きなところ、魅力、今後の町への想いを聞きました。